

メドウフェスクの新品種

ト レ ー ダ ー

耐寒性強く、再生力旺盛、多収

札幌研究農場 上原 昭 雄

メドウフェスクはチモシー、オーチャードグラスに次ぐ第3のイネ科草として、乾燥地、湿润地いずれにも適して多収であり、比較的の不良土壤にもよく生育します。

また、秋の生育、再生力が旺盛なため採草放牧兼用草種として全道的に広く使われています。

オーチャードグラス、チモシーの主体草地は秋落ち、すなわち秋になっての多収が望めないことが一つの悩みとなっておりましたが、メドウフェスクは秋の生育が極めて良好で、さらに霜に当たると消化率が向上する等の点で放牧期間を延長させるためには欠かせない草種となっています。

〈トレーダー〉（OECD登録品種）

草丈高く、葉幅やや広く、葉色はやや濃緑で、耐病性・耐寒性（雪腐病）に強く、永続性良好な品種です。

出穂はレトーより5日おそく、タミストよりもややおそく晩生系に属します。このため採草利用の場合、オーチャードグラス晩生種（ヘイキング）、チモシー早生種（ホクオウ）、アカクローバ中生種（ハミドリ）と出穂・開化期が一



メドウフェスク新品種トレーダー

致し、混播組合わせが最適です。また放牧利用の場合は表に示したとおり、乾物収量でレトーより約10%多収であり、春から秋まで生育旺盛な品種です。

すなわち、採草放牧いずれにも適して多収であり、特に秋の生育が極めて旺盛で、放牧期間の延長に最適な品種です。

また、トレーダーは酷寒の国カナダで育成された品種で耐寒性が極めて強く、メドウフェスクの冬枯れ発生がみられる根刈地域においても好成績が得られるものと期待されます。

メドウフェスクの品種比較

（年間5回刈一疑似放牧多回刈）（北農試）

品 種 名	育 成 国	出 穂 始		乾 物 収 量 kg/10a					
		S 46	S 47	S 46		S 47		S 46 ~ 47	
		月 日	月 日	5 回 刈 合計収量	同左比	5 回 刈 合計収量	同左比	2 カ 年 合計収量	同左比
レ ト ー	デンマーク	6. 9	6. 13	776	100	514	100	1,290	100
タ ミ ス ト	フィンランド	13	17	789	102	475	92	1,264	98
ト レ ー ダ ー	カ ナ ダ	13	18	893	115	523	102	1,416	110
バ ン デ イ	オ ラ ン ダ	11	16	825	106	498	97	1,323	103